

トップセミナー 開催要綱

【社会福祉法人・社会福祉施設編】

趣旨 社会福祉法人の経営を担う立場として、社会福祉施設におけるサービスの質の向上、人材の育成について考えます。

1. 社会福祉施設の役員が知っておくべき最新の情報を得られます

毎年テーマを変えたプログラムしており、社会福祉施設の役員等が知っておくべき最新の情報を得ることができます。

2. 社会福祉施設を取り巻くさまざまなテーマや課題を考えます。

少子高齢化・人口減少によって生じる様々な課題に対し、経営の適切化に向けての考え方や、地域社会における社会福祉施設の今後の在り方について学ぶことができます。

3. いつでもどこでも、何度でも学べます

オンデマンド配信のため、配信期間内は、好きな時間に動画を視聴できます。
また、何度でも動画を視聴できるため、復習のツールとしても有効で、学習効果が高まります。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

社会福祉法人の役員（理事・評議員・監事）、老人・障がい・保育・児童分野の施設長、管理・指導的立場の職員

配信期間

令和6年11月11日（月）～12月27日（金）

申込期間

令和6年 9月10日（火）～10月 8日（火）

研修費用

道社協会員事業のため無料

※非会員が受講申込する場合は、12,000円を申し受けます。

受講決定

令和6年10月15日（火）までにご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	<p>講義 1</p> <p>「リスクから考える社会福祉施設の防災対策～継続して学び・実践することで対応力を高める～」</p>	<p>地震や台風、豪雨等の自然災害や感染症は、発生した場合、社会福祉施設の運営に甚大な影響を及ぼします。</p> <p>社会福祉施設の防災対策は、一通りの計画を作れば万全ではなく、平時における準備と訓練が大切になります。</p> <p>ここでは、職員や利用者など全員で災害リスクを共有することや、地域の他施設間とのネットワークの構築など、平時から社会福祉施設が取り組むべき防災対策を学びます。</p>
約 90 分	<p>講義 2</p> <p>「社会福祉施設における DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用と効果」</p>	<p>我が国の人口は毎年減少し、高齢化も進んでいます。いわゆる生産人口の減少により、社会保障の財源となる税収減も予測される中、これからの社会福祉施設は効率的で接続可能な運営が求められます。</p> <p>「人が人を見る」の視点だけではなく、様々な介護ロボットや機器を導入することで得られる、人とロボットが連携した介護のメリットなど、社会福祉施設における DX の活用と効果を考えます。</p>
約 90 分	<p>講義 3</p> <p>「医療的ケアが必要な子どもたちが安心して暮らせる地域づくりと人材育成とは～社会福祉法人・社会福祉施設が担う役割を考える～」</p>	<p>人工呼吸器やたんの吸引などの医療行為が日常的に必要となる子どもたちのことを「医療的ケア児」といいます。推計では全国で1万9千人を超えており、令和3年には医療的ケア児や家族を支援することを目的とした「医療的ケア児童及びその家族に対する法律（医療的ケア児支援法）」が施行されました。</p> <p>これを受け、医療的ケア児支援法に基づき開設した「北海道医療的ケア児等支援センター」での様々な支援や取組み内容等から、生涯にわたる支援が可能となる人材と地域づくりのために社会福祉法人・社会福祉施設が担う役割を考えます。</p>